



平成 28 年 7 月 7 日

環境政策課

(内 2347)

平成27年度ダイオキシン類環境調査結果について

平成27年度ダイオキシン類環境基準監視調査の結果、河川 1 地点を除き、その他の地点は、環境基準を達成しました。

なお、河川 1 地点において、環境基準を超過した理由は、調査の結果、過去に使用された農薬由来であると推定されました。そのため、再調査並びに関係機関への情報提供等を行いました。

環境基準を超過した河川 1 地点については、平成28年度調査においても、継続して監視を実施することとしています。

1 平成27年度及び過去の調査結果の範囲

(単位 大気：pg-TEQ/m³ 土壌・底質：pg-TEQ/g 水質：pg-TEQ/l)

調 査 対 象		平成 27 年度調査結果	(参考)平成 12～26 年度	環境基準
大 気		0.0049 ～ 0.024	0.0035 ～ 0.14	0.6 以下
水 質	河 川	0.054 ～ 2.8	0.027 ～ 0.69	1 以下
	海 域	0.052 ～ 0.062	0.018 ～ 0.49	
底 質	河 川	0.11 ～ 5.3	0.075 ～ 12	150 以下
	海 域	0.13 ～ 2.9	0.075 ～ 22	
土 壌		0.0030 ～ 0.43	0.0079 ～ 8.9	1,000 以下

2 環境基準監視調査結果

(1)大 気 (単位：pg-TEQ/m³)

採取場所	調 査 結 果			環境基準
	夏 期	冬 期	平 均	
四国中央市	0.0068	0.0076	0.0072	0.6以下
新居浜市	0.0072	0.0095	0.0084	
西条市	0.0067	0.0088	0.0078	
今治市	0.0074	0.011	0.0092	
八幡浜市	0.0049	0.0075	0.0062	
宇和島市	0.0095	0.024	0.017	

(2) 水 質 (単位：pg-TEQ/l)

種 類	採取場所	調査結果		環境基準値
		調査	平均	
河 川	大畑橋 (東温市)	0.054	0.054	1以下
	広江川 (西条市)	0.75*~ <u>2.8</u>	<u>1.8</u>	
	上灘川 (伊予市)	0.060	0.060	
海 域	東予海域ST-6	0.062	0.062	
	長浜海域ST-4	0.052	0.052	
	三瓶海域ST-3	0.053	0.053	

※再調査時の広江川の水源 (湧水) の結果は、0.057pg-TEQ/lであった。

(3) 底 質 (単位：pg-TEQ/g)

種 類	採取場所	調査結果	環境基準値
河 川	大畑橋 (東温市)	0.11	150以下
	広江川 (西条市)	5.3	
	上灘川 (伊予市)	0.24	
海 域	東予海域ST-6	1.3	
	長浜海域ST-4	0.13	
	三瓶海域ST-3	2.9	

(4) 土 壌 (単位：pg-TEQ/g)

採取場所	調査結果	環境基準値
四国中央市中之庄町	0.25	1,000以下
新居浜市船木	0.26	
西条市石田	0.014	
今治市立花町	0.0030	
東温市下林	0.43	
上浮穴郡久万高原町	0.18	

(備考) 各検体の採取年月日

大 気	夏 期：平成27年7月27日 ～ 平成27年8月26日 冬 期：平成28年1月5日 ～ 平成28年1月26日
水質及び底質	平成27年7月15日 ～ 平成27年8月17日
土 壌	平成27年10月5日 ～ 平成27年10月15日
再調査	平成27年11月24日

(参考)

1 調査対象及び調査地点数

調査対象		環境基準監視調査	
		調査地点数	検体数
大 気		6	12
水 質	河 川	4	5
	海 域	3	3
底 質	河 川	3	3
	海 域	3	3
土 壌		6	6
合 計		25	32

備考1 大気については年2回（夏・冬）、その他については年1回実施

2 ダイオキシン類濃度の単位について

○p g（ピコグラム）：1兆分の1グラムを表す単位

○TEQ（毒性等量）：ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量に換算した値であることを示す

3 ダイオキシン類に係る環境基準について

媒 体	基準値
大 気	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
水 質（水底の底質を除く。）	1 pg-TEQ/l以下
水底の底質	150 pg-TEQ/g以下
土 壌	1000 pg-TEQ/g以下

○大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

○土壌にあつては、環境基準が達成されている場合であつて、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g 以上の場合には、必要な調査を実施することとする。

4 毒性等量算定の際、定量下限値未満の数値の取扱いについて

○大気、水質及び底質

定量下限値未満、検出下限値以上の数値は、そのままの値を用い、検出下限値未満の数値は、検出下限値の1/2を用いて、各異性体の毒性等量を算出する。

○土 壌

定量下限値未満の数値は、ゼロとする。